







毎月15・30日はチャーシホーアスアー 1回のチャージ金額に応じて A'kuboボーナスをプレゼント!チャージ金額 10,000円 20,000円 30,000円 は ご利用いただけなくなります。

お早めにA'kuboカードへ 切り替えをお願いいたします。





株式会社長野県A・コープ

全29店舗の 友だち募集中! HP店 今すく



400円

100円

ボーナス金額

50円

七尾漁港、復興への歩み。

令和6年1月の能登半島地震により石川県能登地方は甚大な被害を受けました。 しかし現在、地域住民や関係機関の尽力と全国からの支援により 復旧が着実に進んでいます。

漁業と港湾機能の再開

地震の影響で一時停止していた定置網漁業は、2024年1月 上旬から順次再開。

さらに、七尾市公設地方卸売市場も2月1日から営業を再開し、 地域の水産物流が回復しつつあります。

また、七尾港の岸壁も被害を受け、セメントや骨材の海上 輸送が一時停止していましたが、2025年4月2日より運搬船に よる受け入れが再開されました。

七尾港矢田新地区の第一西さん橋・岸壁では本格復旧工事も 開始されており、港湾機能の早期全面回復が期待されています。





地域の再興に向けて

七尾魚市場株式会社の青木紀社長は「震災から1年5カ月が経 過し復旧を進めながら、漁業と観光の両輪で再興に向けて歩んで います。地域の人々の強い意志と継続的な支援のもとで、少しず つではありますが、日常を取り戻しつつあります。引き続き多く の方に新鮮な七尾の魚を食べていただき復興へ繋げていきたいと 思います。」と語りました。長野県 A・コープも地域の活性化と復 興支援に積極的に取組み応援していきます。

七尾の味を長野で楽しむ。そして、被災地の未来をともに支える。 「七尾漁港直送市」今、食卓からできる支援のかたち



~海の思み

毎週土曜日には「能登七尾港直送市」を開催。 七尾との継続的な連携を通じて能登半島地震で 被災した七尾漁港を支援するとともに、内陸の長 野県民に「海の恵み」を届ける架け橋として取組 んでいきます。



長野の ソウルフード!

復活から1年となる2025年6月11日を



「ビタミンちくわ」は1952年の発売以来、なんと70年以上も愛され続けてきたロングセラー商品。その約7割が長野県 で消費されていることから、「長野のソウルフード」として親しまれてきました。

ビタミンちくわが復活してから、ちょうど1年。これまで長野県の皆さんから寄せられたあたたかい応援やご支援に感謝 の気持ちを込めて、スギヨとマルイチ産商は共同でこの日を「スギヨのビタミンちくわ復活の日」として制定しました。

この記念日には、「支えてくれた地域の方々への感謝を忘れず、これからも地域とのつながりを大切にしていきたい」と いう想いが込められているそうです。毎年6月1日を迎えるたびに、その感謝の気持ちを思い出し、次の世代にも伝えて いきたいとしています。

「○○の日」の申請はメーカーが単独ですることがほとんどです。でも今回は、他の会社―しかも県外の企業と一緒に 申請して、この日を盛り上げようとイベントなどに取り組んでいるんです。こういう取り組みって、実は珍しいんですよ。 それだけスギヨが長野県の皆さんにしっかり愛されている証かもしれません。

イベントでも大盛況!

同日には、「ファーマーズ南長野店」で「ビタミンちくわ復活祭 第3弾」 開催され、「ビタちく-1グランプリ」でスギヨ賞受賞メニュー「ビタミンち くわでエビチリ風」の試食会なども実施。会場は大盛り上がりでした!





















今後のスギヨは

スギヨの杉野哲也社長は、「ビタミンちくわは代々大切にしてきた商品。今回の 復活には強い思いがありました。」と語ります。

長年親しまれてきたビタミンちくわは、地震という大きな困難を乗り越えて再び 食卓に帰ってきました。

長野県でも多くの方に愛されてきた"地元の味"として、これからも地域の中で 受け継がれていくことでしょう。私たちも、この味と想いをこれからも地域の皆さ んと一緒に支えていきます。





ビタミンちくわ販売再開 1周年記念



